2026 年度

医療法人徳真会

みのおデンタルクリニック

臨床研修プログラム

医療法人徳真会

みのおデンタルクリニック臨床研修プログラムの概要

I.プログラムの名称

医療法人徳真会 みのおデンタルクリニック臨床研修プログラム

II.研修プログラムの理念と特徴

1. 理念

「医療は人なり」という基本概念のもと、臨床研修を通して歯学教育の一翼を担い、地域に根ざした診療所として地域住民の要請にあった先端の医療技術を提供する。さらに高度な診療能力を身につけ、住民、国民の高度な要望に応えられる専門性豊かな資質の高い全人的医療人を養成する。

2. 特徴

幅広い基本的診療能力(知識・技術・態度・情報収集・総合判断)を身につけることができる診療参加型の研修である。即ち、日常の診療で頻繁に遭遇する症例や地域特有の歯科医療、コデンタルスタッフとの協働、各分野の専門医を中心とするチーム医療等、様々な歯科医療形態を学ぶことができる。

III.研修のねらい

1. 歯科医師として好ましい態度・習慣を身につけ、患者およびその家族とのより良い人間関係を確立する。
2. 全人的な視点から得られた様々な医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
3. 歯科疾患と障害の予防および治療における基本的技能を身につける。
4. 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
5. 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
6. 自ら行なった処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身につける。
7. 専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修への動機付けを高める。
8. 歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

IV.研修目標

歯科医師として身につけるべき基本的価値観及び基本的診療能力の修得、地域包括ケアシステムの構築など、医療の提供体制の変化を踏まえ、在宅歯科医療の提供やチーム医療・多職種連携等への対応、各ライフステージにおいて必要な歯科保健医療への対応を目標とし、「A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナルリズム)」「B.資質・能力」「C.基本的診療業務」の3つから構成される。

A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナルリズム)

1、社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2、利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3、人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

4、自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B.資質・能力

1、医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

2、歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④ 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- ⑤ 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。

3、医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ① 頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行

う。

② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。

③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。

④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4、診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・移行に配慮した診療を行う。

① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。

② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。

③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。

④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5、コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

① 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。

② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。

③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6、チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。

② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。

③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7、社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。

② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。

③ 予防医療・保健・健康増進に努める。

④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。

⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8、科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。

② 科学的研究方法を理解し、活用する。

③ 臨床研究や治験の意義を理解する。

9、生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌等を含む。)を把握する。

C.基本的診療業務

	研修内容	必要症例数 および件数	修了判定の 評価基準
1 基本的 診療 能力 等	(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画		
	① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する (医療面接)	50	最低限50 症例を 経験する事
	② 全身状態を考慮した上で、額顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、 診療所見を解釈する。(口腔内診察、各種検査の必要性の判断、診察 所見の解釈)	50	最低限 50 症例を 経験する事
	③ 診療所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。 (レントゲン、歯周基本検査、検査結果の解釈)	30	最低限 30 症例を 経験する事
	④ 病歴聴取、診療所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。 (診断)	30	最低限 30 症例を 経験する事
	⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得 る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。(治療計画の立 案)	30	最低限 30 症例を 経験する事
	⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患 者及び家族の意思決定を確認する。(患者または家族への治療説明、イ ンフォームドコンセントの取得)	30	最低限 30 症例を 経験する事
	(2) 基本的臨床技能等		
	① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する (フッ化物歯面塗布 10 症例、TBI・歯科疾患管理文書作成 10 症例)	20	最低限、20 症例 を経験する事
	② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理 を実践する。		
	a. 歯の硬組織疾患(コンポジットレジン修復 10 症例、インレー修復 5 症 例)	15	最低限 15 症例を 経験する事
	b. 歯髄疾患(抜髄 5 症例、感染根管処置 5 症例)	10	最低限 10 症例を 経験する事
	c. 歯周病(歯周基本検査 10 症例、スケーリング・ルートプレーニング 8 症例、歯周外科治療の補助 2 症例)	20	最低限 20 症例を 経験する事
	d. 口腔外科疾患(乳歯抜歯 5 症例、永久歯抜歯 5 症例)	10	最低限 10 症例を 経験する事

e. 歯質と歯の欠損(ブリッジ補綴 2 症例、全部床義歯 1 症例、部分床義歯 2 症例、クラウン補綴 5 症例)	10	最低限 10 症例を経験する事
f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下(口腔筋機能療法 1 症例、咬合診査 1 症例))	2	最低限 2 症例を経験する事
③ 基本的な応急処置を実践する。(急性症状、修復物脱離、義歯破損への対応)	5	最低限 5 症例を経験する事
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(問診・バイタルサインの確認)	5	最低限 5 症例を経験する事
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録 2 症例、処方せん 1 症例、歯科技工指示書等 2 症例)を作成する。	5	最低限 5 症例を経験する事
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。(院内における講習会(医療安全講習、院内感染対策講習、針刺し事故講習)を受講し、レポート作成を行う)	3	研修に参加しそれぞれのレポートを作成すること
(3) 患者管理		
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。(高血圧および糖尿病で歯科診療中の患者およびその家族に、歯科治療上の問題点と服用薬剤等について説明する)	5	最低限 5 症例を経験する事
② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(主治医に対して病状確認と歯科治療方針の報告を行う)	5	最低限 5 症例を経験する事
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(心拍および血圧の状況に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う)	5	最低限 5 症例を経験する事
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。(BLS 実習に参加する)	1	最低限 1 症例を経験する事
(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供		
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。	5	最低限 5 症例を経験する事
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。	5	最低限 5 症例を経験する事
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。(訪問診療)	3	最低限 3 症例を経験する事
④ 障害を有する患者への対応を実践する。(障害のある方への歯科診療)	1	最低限 1 症例を経験する事

2 歯科医療に関連する連携と制度の理解度	(1) 歯科専門職の連携		
	① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。(予防処置、口腔管理について歯科衛生士と連携を図る)	5	最低限5症例を経験する事
	② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。(技工指示書を作成し、歯科技工士への依頼する)	3	最低限3症例を経験する事
	③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。(連携口腔ケア、NSTへの参加、院内MTでの発表)	1	最低限1症例を経験する事
	(2) 多職種連携、地域医療		
	① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。(地域包括ケアに関する講義を受け、レポートを作成)	1	最低限1症例を経験する事
	② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。(地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割について講義を受け、レポートを作成)	1	最低限レポートを1枚作成する事
	③ 在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。(連携口腔ケアNSTへの参加)	1	最低限1症例を経験する事
	④ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。(訪問診療を行い、介護職種と連携を図る)	1	最低限1症例を経験する事
	(3) 地域保健		
	① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。(地域保健・福祉に関する講義を通してレポート作成)	1	最低限レポートを1枚作成する事
	② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。(保健所の活動に関する講義を通してレポート作成)	1	最低限レポートを1枚作成する事
	(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解		
	① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(歯科医師に関わる法律に関する講義を通してレポート作成)	1	最低限レポートを1枚作成する事
	② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。(保険診療を実践する)	100	最低限100症例を経験する事
	③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(介護保険制度に関する講義を通してレポート作成)	1	最低限レポートを1枚作成する事

V. 症例数

歯科医師臨床研修の到達目標を達成するため研修歯科医1人当たりに必要な症例数 合計 472 症例
 研修期間中に経験することを目標とする研修歯科医1人当たり症例数(目標症例数) 合計 472 症例

VI. 研修プログラムの概要

医療法人徳真会(以下「徳真会」と記す)みのおデンタルクリニック臨床研修プログラム

1. プログラム責任者 永原 國央

管理型臨床研修施設で8ヶ月、協力型(I)施設で3か月、協力型(II)研修施設で30日の研修プログラム。

期間	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研修先	管理型臨床研修施設				協力型 (II)研修 施設	協力型(I)研修施設			管理型臨床研修施設			

概要

- 1) 上記の日程で研修を行う。
- 2) 当院での研修期間中は主に後出のVII.研修内容にある臨床前研修、補助研修、総合技術研修、患者技工研修、専門医研修、症例発表を行う。
- 3) 協力型(I)研修施設群の中から1つを選択する。
- 4) 協力型研修(I)の研修期間中は基本的診療能力においての研修を行う。
- 5) 協力型(II)研修施設での研修期間中は、全身管理研修を主に行う。
- 6) 協力型(II)研修施設は長崎大学病院、又は鶴見大学病院のいずれか一方を選択する
- 7) 協力型(II)研修の時期は前後することがある。

VII. その他研修内容

1. 徳真会みのおデンタルクリニック臨床研修プログラム

1) 臨床前(ポリクリ)研修

研修歯科医オリエンテーション(半日間)

- (1) 徳真会について(紹介ビデオ)
- (2) プランニングカード記載のレクチャー
- (3) 電子カルテ入力のレクチャー
- (4) 次回メモの見方・記載のレクチャー
- (5) 朝のカルテ予習のレクチャー
- (6) 終業時のカルテチェックのレクチャー
- (7) 自費・技工および技工物の取り扱いについて(価格、当日の技工物のチェック)のレクチャー
- (8) 朝礼のレクチャー

2) 補助研修

専門医、指導歯科医、あるいはベテラン歯科医の診療補助をしながら、患者への対応、臨床診断、治療計画の立案を学ぶ。

3) 総合術者研修

徳真会みのおデンタルクリニックでの一口腔単位の総合診療を指導歯科医の指導のもと行う。

4) 専門医研修

少なくとも1か月に1回、専門医や施設内・外の講師による歯科臨床研修に関するセミナーを受講する。

5) 症例発表

研修期間中に担当した少なくとも1症例の発表を行う(PCを使用)。

VIII.研修歯科医の指導体制

1. 管理・運営

歯科医師臨床研修管理委員会を設置し、プログラムの管理・運営を行う。

名称:医療法人徳真会 みのおデンタルクリニック 歯科医師臨床研修管理委員会

構成: 研修管理委員長	永原 國央
プログラム責任者	永原 國央
副プログラム責任者	小谷 晟梧
施設管理者	永原 國央
事務責任者	田中 優一郎
研修実施責任者(協力型Ⅱ)	山口 博康 (鶴見大学歯学部付属病院)
研修実施責任者(協力型Ⅱ)	角 忠輝 (長崎大学病院)
研修実施責任者(協力型Ⅱ)	畠山 大二郎(朝日大学病院)
研修実施責任者(協力型Ⅰ)	寺嶋悟(医療法人敬志会)
研修実施責任者(協力型Ⅰ)	竹松大地(はかた中央歯科)
研修実施責任者(協力型Ⅰ)	増田 智基(医療法人健誠会)
外部委員	辻村 亮平 (株式会社ワールドラボ)

その他主な研修管理委員

松村 博史 (徳真会グループ代表:外部委員)

上杉 慶介 (徳真会グループ 人事部長:外部委員)

2. 研修管理委員会の主な業務

歯科医師の卒後の臨床研修に関する重要事項を審議決定する機関として、歯科医師臨床研修管理委員会を置く。円滑で効果のある臨床研修を行うために年に数回の研修管理委員会を開催し、研修評価を行い、それに基づいて研修プログラムを協議、計画を立て、必要な研修を行う。更に歯科医師臨床研修管理委員会では臨床研修の指導、監督及び到達目標への達成度、採用、中断、修了の評価についても具体的に検討するものとする。

3. 指導体制と医療事故への対応

管理型臨床研修施設及び協力型臨床研修施設における指導歯科医下、または指導歯科医の指導監督の下、上級歯科医による屋根瓦方式で指導を行う。指導歯科医または上級歯科医の患者および症例の配当を行い、基本的な知識、手技並びに全身的な治療管理を習得させる。また、医療事故への対応については、診療に関わる医療事故の主たる責任は指導歯科医が負うが、研修歯科医は受け持ち医として、重大な事故発生の場合は、直ちに指導歯科医に連絡し、その指示を仰ぐものとする。

4. 指導歯科医

本施設における指導歯科医は、7年以上の臨床経験を有し指導歯科医師講習会を受講している者とする。

IX. 施設概要

1. 管理型臨床研修施設

1) 施設名	医療法人徳真会 みのおデンタルクリニック
2) 所在地	大阪府箕面市西宿1-11-5
3) 管理者	永原 國央
4) プログラム責任者	永原 國央
5) 指導歯科医	永原 國央
6) 事務担当者	田中 優一郎
7) 設備	ユニット10台
8) 施設の特徴	http://www.tokushinkai.or.jp

2. 協力型(II)臨床研修施設 ①

1) 施設名	長崎大学病院
2) 所在地	長崎県長崎市坂本1-7-1
3) 研修実施責任者	角 忠輝
4) 指導歯科医	角 忠暉 他 121名

3. 協力型(Ⅱ)臨床研修施設 ②

- 1)施設名 鶴見大学歯学部附属病院
- 2)所在地 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3
- 3)研修実施責任者 山口 博康
- 4)指導歯科医 山口 博康 他 103 名

4. 協力型(Ⅱ)臨床研修施設 ③

- 1)施設名 朝日大学病院
- 2)所在地 岐阜県岐阜市橋本町 3-23
- 3)研修実施責任者 畠山 大二郎
- 4)指導歯科医 畠山 大二郎 他 10 名

5. 協力型(Ⅰ)研修施設④

- 1)施設名 医療法人徳真会 はかた中央歯科
- 2)所在地 福岡県福岡市西区橋本
- 3)研修実施責任者 栗林 佑太郎
- 4)指導歯科医 栗林 佑太郎

6. 協力型(Ⅰ)研修施設⑤

- 1)施設名 医療法人敬志会 藤阪てらしま歯科
- 2)所在地 大阪府枚方市藤阪南町2-32-1
- 3)研修実施責任者 寺島 悟
- 4)指導歯科医 寺島 悟

7. 協力型(Ⅰ)研修施設⑥

- 1)施設名 医療法人健誠会 増田歯科・矯正歯科
- 2)所在地 大阪府大阪市北区東天満 1-11-9
- 3)研修実施責任者 増田 智基
- 4)指導歯科医 増田 智基

8. 協力型(Ⅰ)研修施設⑦

- 1)施設名 医療法人徳真会 松村歯科新津診療所
- 2)所在地 新潟市秋葉区美幸町 3-1-12-2
- 3)研修実施責任者 坂ノ上 隆晃
- 4)指導歯科医 坂ノ上 隆晃

X.研修評価と修了認定

歯科医師臨床研修委員会により、プログラムの評価項目についての研修歯科医の自己評価及び指導歯科医による客観的評価に基づき、当初の到達目標に至ったか否かを討議する。その際に図表1に定められた最低限の症例をこなしている事を前提とする。また、研修日報の記載、研修レポートの提出、症例発表を行う事とし、研修日報すべての記載、研修レポート【良】以上、症例発表【B】以上を基準とする。最終的に歯科医師臨床研修管理委員会が研修修了を認定し修了証を授与する。

X.研修歯科医の募集および採用方法

1. 処遇について

1) 職名	: 臨床研修歯科医
2) 常勤・非常勤の別	: 常勤
3) 給与	: 月給 25万円
4) 通勤手当	: 実費支給 (上限 30,000円)
5) 賞与、時間外・休日手当等	: なし
6) 時間外勤務	: なし
7) 当直	: なし
8) 勤務時間※1	: ①平日 08:15~19:00 (休憩 75分)
②土日 08:15~18:30 (休憩 75分)
9) 休暇※1	: 週休3日
有給休暇 6か月以上勤務した場合10日
10) 寮宿舍※2	: あり (個人負担あり: 会社4割負担、
初期費用会社負担)
11) 研修歯科医のための施設内の部屋	: 1室
12) 公的医療保険	: 全国健康保険協会
13) 公的年金保険	: 厚生年金
14) 労災保険	: あり
15) 雇用保険	: あり
16) 健康管理	: 健康診断年1回
17) 歯科医師賠償責任保険	: 施設加入 (個人として加入義務あり)
18) 学会・研究会等への参加	: 可 (費用支給はなし)
19) 勤務地	: 〒562-0034 大阪府箕面市西宿1丁目17-22
みのおキューズモール EAST1 3F

※1 勤務時間、休暇に関して、協力型研修施設での勤務時間は当該施設の勤務時間に準ずる

※2 協力型研修施設でアパートが必要な場合は会社が借りるが寮費の個人負担あり

(上限は管理型と同額)

※協力型研修施設の移動費は会社負担とする

2.採用方法

- 1) 募集定員 : 2名
- 2) 出願書類 : 履歴書、健康診断書、成績証明書、卒業見込み証明書
- 3) 選考方法 : 公募、HP など
面接及び書類審査で採用を決定する。
- 4) 募集期間 : 2025年5月頃から
- 5) 選考期間 : 2025年6月頃から順次

XI. 問い合わせ先

医療法人徳真会グループ みのおデンタルクリニック

〒562-0034 大阪府箕面市西宿1丁目17-22 みのおキューズモール EAST1 3F

電話：072-749-2080

FAX：072-749-2085

Mobile：080-9022-1776

E-mail：y-tanaka@tokushinkai.or.jp

担当：田中 優一郎